



平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年8月4日

上場会社名 ダイセル化学工業株式会社
 コード番号 4202 URL <http://www.daicel.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) IR広報グループリーダー
 四半期報告書提出予定日 平成23年8月11日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東大

(氏名) 札幌 操

(氏名) 畑 理史

TEL 03-6711-8121

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	82,402	△8.5	6,065	△45.2	6,781	△35.2	3,243	△22.0
23年3月期第1四半期	90,022	41.6	11,069	834.9	10,467	720.9	4,157	578.1

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 4,569百万円 (124.4%) 23年3月期第1四半期 2,036百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	9.12	—
23年3月期第1四半期	11.68	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	411,913	238,961	52.1
23年3月期	411,071	235,336	51.6

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 214,767百万円 23年3月期 212,052百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	4.00	—	6.00	10.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	5.00	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	173,000	△4.4	12,000	△42.4	12,500	△36.8	7,000	△9.6	19.68
通期	364,000	2.9	27,000	△17.5	27,500	△12.9	16,000	△4.8	44.97

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期1Q	364,942,682 株	23年3月期	364,942,682 株
② 期末自己株式数	24年3月期1Q	9,189,271 株	23年3月期	9,185,807 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期1Q	355,755,328 株	23年3月期1Q	355,904,762 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きを実施しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

連結業績予想は、現時点で入手された情報に基づき判断したものであり、実際の業績は様々な要因により、これらの業績予想とは異なることがありうることをご承知おきください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間のわが国経済は、本年3月に発生した東日本大震災により景気全般が大きな影響を受けました。6月に入って徐々に生産活動の回復が進むにつれ、持ち直しの動きが見えてきたものの、電力供給及び原子力災害に対する不安、さらには原燃料高や円高も継続し、依然として厳しい状況のうちに推移いたしました。

このような環境の中、当第1四半期連結累計期間の当社グループの売上高は、824億2百万円（前年同期比8.5%減）となりました。利益面では、営業利益は60億65百万円（前年同期比45.2%減）、経常利益は67億81百万円（前年同期比35.2%減）、四半期純利益は32億43百万円（前年同期比22.0%減）となりました。

なお、特別損失として、災害による損失4億34百万円を計上しております。その主な内容は、東日本大震災により自動車エアバッグ用インフレーター事業が通常の操業度を著しく下回ったことに伴う期間中の固定費等でありませ

ず。

セグメント別の状況は次のとおりです。

[セルロース事業部門]

酢酸セルロースは、東日本大震災による影響は軽微でありましたが、販売価格の低下などにより、売上高は減少いたしました。

たばこフィルター用トウは、輸出は円高の影響を、国内向けは平成22年10月のたばこ増税による需要減を受け、売上高は減少いたしました。

当部門の売上高は、177億63百万円（前年同期比16.1%減）、営業利益は、円高や原燃料価格の高騰などにより、17億6百万円（前年同期比63.8%減）となりました。

[有機合成事業部門]

主力製品の酢酸は、主要用途である高純度テレフタル酸（PTA）向けを中心に需要が堅調に推移しましたが、当社姫路製造所網干工場の2年に1度の定期修繕を当第1四半期中に実施したことによる販売時期の調整が影響し、売上高は減少いたしました。

酢酸誘導体及び各種溶剤類などの汎用品は、酢酸エチルなどの需要が堅調に推移し、原燃料高に対応した販売価格の是正を実施したこともあり、売上高は増加いたしました。

カプロラク톤誘導体やエポキシ化合物、半導体レジスト材料などの機能品は、エポキシ化合物の好調が続いたことや原燃料高による販売価格の是正の効果もありましたが、自動車及び電子材料用途向けが震災による影響を受け、売上高は横這いとなりました。

光学異性体分離カラムなどのキラルケミカル（光学活性体）事業は、中国、インド向けのカラム販売が引き続き好調であり、米国を中心とした受託分離ビジネスも回復を見せていることもあって、売上高は増加いたしました。

当部門の売上高は、202億57百万円（前年同期比3.3%減）、営業利益は、販売価格の是正が寄与して、22億85百万円（前年同期比9.8%増）となりました。

[合成樹脂事業部門]

ポリアセタール樹脂、PBT樹脂、液晶ポリマーなどのエンジニアリングプラスチックは、12月決算会社である連結子会社ポリプラスチック株式会社及びその子会社群が事業を行っております。当第1四半期にあたる平成23年1～3月においては、中国やASEANにおける需要が好調に推移したものの、円高の影響などにより、売上高は横這いとなりました。

AS・ABS樹脂、エンブラアロイ樹脂を中心とした樹脂コンパウンド事業は、主要用途の自動車部品やOA機器向けで震災の影響を受けましたが、原燃料高による販売価格の是正などにより、売上高は増加いたしました。

シート、成形容器、フィルムなどの樹脂加工事業は、フィルムなどは一部で売上げを伸ばしましたが、成形容器は電子材料分野で震災による需要不振の影響を受けるなど販売が低調に推移し、当事業の売上高は横這いとなりました。

当部門の売上高は、341億68百万円（前年同期比1.9%増）、営業利益は、円高や原燃料価格の高騰などにより、38億13百万円（前年同期比6.6%減）となりました。

[火工品事業部門]

自動車エアバッグ用インフレーター（ガス発生器）及びシートベルト・プリテンショナー用ガス発生器（PGG）は、震災による自動車業界の操業度低下の影響を大きく受け、売上高は大きく減少いたしました。

発射薬、ミサイル構成部品、航空機搭乗員緊急脱出装置関連製品などの特機事業は、一部製品の防衛省による調達数量減少などにより、売上高は減少いたしました。

当部門の売上高は、89億79百万円（前年同期比31.5%減）、営業利益は、震災による販売数量の減少に伴う設備稼働率の低下などが影響し、2億29百万円（前年同期比87.9%減）となりました。

[その他部門]

水処理用分離膜モジュールなどのメンブレン事業は、医療分野向けは好調でしたが、排水処理向けが低調に推移し、売上高は横這いとなりました。

その他、運輸倉庫業などの売上高は減少いたしました。

当部門の売上高は、12億33百万円（前年同期比1.1%減）、営業利益は、1億12百万円（前年同期比34.5%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況

総資産は、現金及び預金、たな卸資産は増加しましたが、受取手形及び売掛金の減少及び有形固定資産の減少などにより、前連結会計年度末と同水準の4,119億13百万円となりました。

負債は、長期借入金の減少などにより、前連結会計年度末に比し27億83百万円減少し、1,729億51百万円となりました。

また、純資産は、2,389億61百万円となりました。純資産から少数株主持分を引いた自己資本は2,147億67百万円となり、自己資本比率は52.1%となりました。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、従来、連結子会社のうち決算日が12月31日であった以下の会社については、同日現在の財務諸表を利用し、連結決算日との間に生じた重要な取引について必要な調整を行っていましたが、当第1四半期連結会計期間より決算日を3月31日に変更しております。

Daicel Safety Systems America, LLC

Daicel Safety Technologies America, Inc.

Daicel Safety Systems (Thailand) Co., Ltd.

Daicel Safety Technologies (Thailand) Co., Ltd.

Daicel (U.S.A.), Inc.

また、従来、連結子会社のうち決算日が12月31日である以下の会社については、同日現在の財務諸表を利用し、連結決算日との間に生じた重要な取引について必要な調整を行っていましたが、当第1四半期連結会計期間より連結決算日現在で実施した仮決算に基づく財務諸表を使用しております。

Daicel Safety Systems Europe Sp. z o. o.

Daicel Safety Systems (Jiangsu) Co., Ltd.

(2) 追加情報

会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用

当第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	34,140	38,981
受取手形及び売掛金	70,628	66,330
有価証券	9,935	10,068
たな卸資産	70,503	73,860
その他	12,757	13,251
貸倒引当金	△56	△48
流動資産合計	197,908	202,444
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	47,113	45,560
機械装置及び運搬具(純額)	69,956	65,496
土地	26,543	26,552
建設仮勘定	4,734	6,734
その他(純額)	2,339	2,343
有形固定資産合計	150,689	146,687
無形固定資産	2,799	2,644
投資その他の資産		
投資有価証券	45,828	45,660
その他	13,991	14,618
貸倒引当金	△145	△142
投資その他の資産合計	59,673	60,136
固定資産合計	213,162	209,468
資産合計	411,071	411,913
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	44,991	46,815
短期借入金	9,815	10,443
1年内返済予定の長期借入金	12,806	12,184
未払法人税等	3,710	1,857
修繕引当金	3,332	810
その他	16,089	18,639
流動負債合計	90,745	90,749
固定負債		
社債	30,000	30,000
長期借入金	41,592	39,063
退職給付引当金	9,428	9,649
役員退職慰労引当金	54	45
修繕引当金	70	—
資産除去債務	1,039	1,050
その他	2,803	2,392
固定負債合計	84,988	82,201
負債合計	175,734	172,951

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	36,275	36,275
資本剰余金	31,579	31,579
利益剰余金	143,813	146,033
自己株式	△4,195	△4,197
株主資本合計	207,472	209,690
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	12,516	12,207
繰延ヘッジ損益	△153	△144
為替換算調整勘定	△7,783	△6,986
その他の包括利益累計額合計	4,579	5,076
少数株主持分	23,284	24,194
純資産合計	235,336	238,961
負債純資産合計	411,071	411,913

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	90,022	82,402
売上原価	66,433	63,952
売上総利益	23,589	18,449
販売費及び一般管理費	12,519	12,384
営業利益	11,069	6,065
営業外収益		
受取利息	41	85
受取配当金	304	476
持分法による投資利益	360	384
その他	282	493
営業外収益合計	988	1,440
営業外費用		
支払利息	473	393
為替差損	732	82
その他	384	247
営業外費用合計	1,590	723
経常利益	10,467	6,781
特別利益		
固定資産処分益	2	0
関係会社株式売却益	—	239
補助金収入	—	1,000
特別利益合計	2	1,240
特別損失		
固定資産除却損	44	275
減損損失	74	374
固定資産圧縮損	—	911
投資有価証券評価損	360	—
関係会社株式売却損	299	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	831	—
災害による損失	—	434
特別損失合計	1,610	1,996
税金等調整前四半期純利益	8,860	6,026
法人税、住民税及び事業税	2,447	1,588
法人税等調整額	1,301	284
法人税等合計	3,749	1,872
少数株主損益調整前四半期純利益	5,110	4,153
少数株主利益	952	910
四半期純利益	4,157	3,243

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	5,110	4,153
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△4,971	△323
繰延ヘッジ損益	△24	6
為替換算調整勘定	1,912	624
持分法適用会社に対する持分相当額	8	107
その他の包括利益合計	△3,074	415
四半期包括利益	2,036	4,569
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	508	3,320
少数株主に係る四半期包括利益	1,527	1,249

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間(自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	セルロー ス事業	有機合 成事業	合成樹脂 事業	火工品事 業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	21,178	20,949	33,541	13,104	88,774	1,247	90,022	—	90,022
セグメント間の内部売上高又は振替高	704	3,364	3	—	4,072	2,533	6,606	△6,606	—
計	21,882	24,314	33,544	13,104	92,847	3,781	96,628	△6,606	90,022
セグメント利益	4,708	2,082	4,083	1,894	12,768	171	12,940	△1,871	11,069

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、メンブレン事業及び運輸倉庫業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△1,871百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社における基礎研究及び管理部門等に係る費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	セルロー ス事業	有機合 成事業	合成樹脂 事業	火工品事 業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	17,763	20,257	34,168	8,979	81,169	1,233	82,402	—	82,402
セグメント間の内部売上高又は振替高	471	3,648	2	—	4,122	2,452	6,574	△6,574	—
計	18,235	23,906	34,171	8,979	85,291	3,685	88,977	△6,574	82,402
セグメント利益	1,706	2,285	3,813	229	8,035	112	8,147	△2,081	6,065

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、メンブレン事業及び運輸倉庫業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△2,081百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社における基礎研究及び管理部門等に係る費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。